



子どもの森づくり通信

(発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

「子どもの森づくり運動」
フラグシップ園会報
(2013年1月号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264
http://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



今年の冬は、本当に厳しい寒さが続きます。

そんな気候の中でも東北のどんぐりたちが発根し始めました。

季節は確実に移ろっている様です。

2013年、今年もよろしくお願ひ申し上げます。

(目次)

1. 「子どもの森づくり運動」2013年の活動
2. 「子どもの森づくり運動」東北復興グリーンウェイブ活動レポート
3. 事務局からのお知らせ ●どんぐり博士の育苗講座2013

■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼児期の子どもたちに「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」とは

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」様との協働で、運動を全国に普及促進するフラグシップ活動を「JP子どもの森づくり運動」、フラグシップ活動実施園を「JP園」として活動を展開、2010年7月、フラグシップ園全国ネットワークが構築されました。

■「子どもの森づくり運動」運営体制

・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟

(社)国土緑化推進機構

全国森林インストラクター会

(社)日本オート・キャンプ協会

(社)大谷保育協会

NPO法人C・C・C 富良野自然塾

NPO法人自然体験活動推進協議会

(株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部



1. 「子どもの森づくり運動」2013年の活動

2013年新しい年を迎え、「子どもの森づくり運動」も6年目を迎えました。2008年から始まった全国48園のフラグシップ(JP)園における第一期の森づくり活動も、後3園を残して植樹活動が完了します。活動が全国に根づきました。一方、幼児期の子どもたちを取り巻く環境は、ますますデジタル化がすすみ、子ども本来の豊かな資質を育むための本物の自然と環境体験へのニーズが高まっています。そんな状況を踏まえ、事務局としては、これまでの活動成果を基盤として活動のさらなる継続と拡がりを目指して、これからも積極的に活動をサポートさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



フラグシップ園ネットワーク

1) 子どもたちの生きる力を育む「子どもの森づくり運動」

以下、事務局として提案したい「子どもの森づくり運動」2013年の活動アクションです。

①活動をレポートする

既に、拾う、育てる、植える、という「運動」の基本活動をレポートしておられる園もいらっしゃいますが、これからもできるだけ多くの園に活動を継続していただければと思っております。

②苗木を見守る

森、広場、園庭等に植樹された苗木は、保護者にとっては卒園児を含む子どもたちの成長のスケールであり、子どもたちにとっては心の定(原)点です。植樹後も、保護者や卒園児を巻き込んで積極的にお世話の機会を作っていただきみんなで見守っていただければと思います。

③活動を拡げる

地域において交流のある幼稚園・保育園に活動を拡げていただければ幸いです。

2) 子どもたちの共に生きる力を育む「子どもの森づくり運動」東北復興グリーンウェイブ

「子どもの森づくり運動」のこれまでの活動に積み上げる「東日本大震災」復興支援活動の取組みがスタートしました。2012年秋、東北の保育園が拾ったどんぐりを、全国の幼稚園・保育園が苗木に育て東北に送り返し、被災地に植える活動です。目指すことは以下の項目です。是非ご参加下さい。

①子どもたちの心に「共生の心」の種をまく

被災地の幼稚園・保育園の子どもたちと、全国の幼稚園・保育園の子どもたちが、活動を通じて互いに思い合い、震災以降の未来を生きる子どもたちにとってもっとも重要な資質である「共に生きる(共生)心」を育ててもらうこと。

②東北の森の生物多様性的緑の再生に寄与する

被災地で拾われたどんぐりから育てた苗木による、東北の森の生物多様性的再生活動に貢献すること。さらに、活動を通じて子どもたちに生物多様性保全への関心を持ってもらうこと。

③子どもたちの活動を世界のグリーンウェイブに繋げる

全国の幼稚園・保育園の子どもたちが参加する、子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」で育てられたどんぐりの苗木を、2014年5月の「グリーンウェイブの日」に被災地に植えることにより、世界の子どもの環境活動に繋げること。



2. 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート

東北から送られてきたどんぐりを植える活動が始まりました。東北のお友達へのメッセージも含めてご紹介します。

●沖縄県「花園幼稚園」

12月20日(木)ビデオ学習を経てどんぐりを植えました。

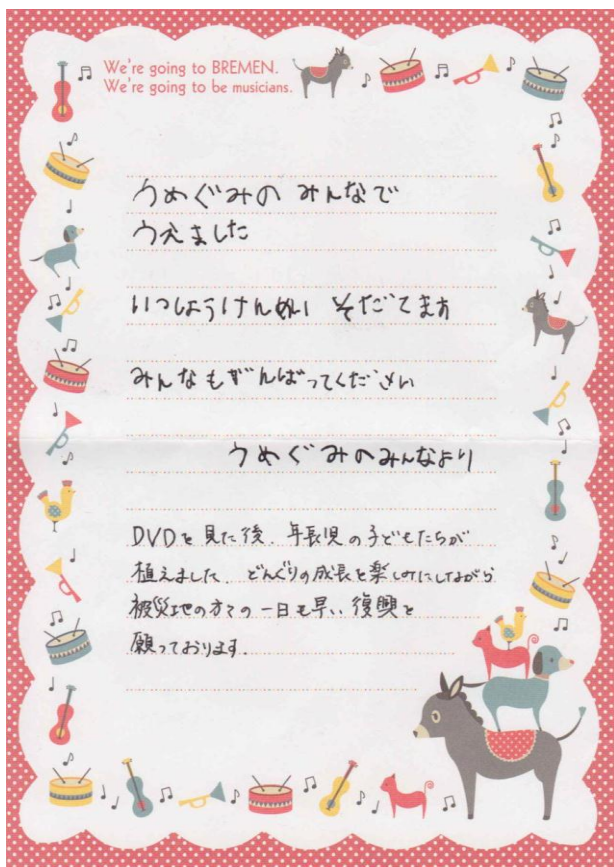
子ども達は、ビデオに映る園の様子に見入り、どんぐりが芽を出してすくすく伸びることを願い植えつけに参加しました。常夏の沖縄宮古島で、どのような結果がでるかは、分かりませんが植物を育てることにもう一つの意味を持った今回の企画は、子どもたちの心を育ててくれることだと信じています。10鉢に植えてみましたので、今後の様子については、また、メールで報告したいと思います。皆様の活動に参加させて頂けることに感謝致します。ありがとうございました。

沖縄県宮古島市 学校法人花園学園 花園幼稚園 園長 新城久恵



●千葉県「今井保育園」

園児のみなさんがお手紙を書いてくださいました。



3. 事務局からのお知らせ

1) 子どもの森づくり運動「復興グリーンウェイ」参加園募集のお知らせ

2012年秋から始まった「復興GW」には、現在、全国で約40園の幼稚園・保育園にご参加いただいています。事務局ではさらに多くの園にご参加いただければと思っております。皆様のご参加をお待ち申し上げます。参加お申し込みの際は、別紙申込み用紙をご利用下さい。ホームページからもお申込みいただけます。

2) ホームページまで活動情報、レポートをお送り下さい。

ホームページのコンテンツが充実してまいりました。

事務局ではホームページを通じて皆様の活動を積極的に発信させていただきたいと思っております。

活動情報やレポート、写真をお送り下さい。森づくり活動に限らず、園としての活動であればなんでも結構です。

送信先: info@kodomonono-mori.net、または郵送(〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4-3F「子森ネット」)



●どんぐり博士の育苗講座 2013～基本編①～

本講座は昨年、手間の少ない「育苗」について共に学びましょうとスタートしました。これまでは、季節や活動に合せたスポット的なテーマでお送りしてまいりましたが、新年にあたり初心に返り、今号からは育苗の基本シリーズをお送りします。まずは育苗で第一に押さえないといけない「土」についてです。

* どんぐり博士: 河内和男(森林インストラクター)



「使用している土の性質を知ろう」

植物の生育に大きな影響を与えるのが「土」です。でも良い土を作り上げるのは多くの知識を要し大変な事です。負担を減らしつつ成果を上げるのが本講座の目的なので、土は手に入れやすい物を使用します。そのかわり、無作為に用意した土には個性が有りますので、まず使用する土の性質を知ることが大切になります。

特に次の2点に注目して性質を探ってください。

- ①水はけが良いか悪いか(水やり後、乾きやすいか、乾きにくい)
- ②水を含んだ際の堅くなる程度(堅くなるほど通気性が悪くなる)

例えば、販売されている培養土は①は良く②はあまり堅くなりません。畑の土に使われる黒土は、①は中程度で②は堅くなりやすい傾向が有ります。

冬は苗もどんぐりも休眠中で、頻繁な水やりが必要の無い季節です。土が乾燥した際に水をあげてみて、①と②の視点で観察し、土の性質を確認してください。それが理解できれば、育苗での中心となる水やりについて自ずと判断できるようになります。次回から、土の性質に合わせた具体的な苗管理について述べて行こうと思います。